

ジョンソン基地跡地留保地利用計画見直しの進め方

【推進体制】

1. ジョンソン基地跡地利用計画審議会

(位置づけ) 利用計画の見直しについて諮問を受けた機関。利用計画の見直し内容について協議し、新たな利用計画の内容または成案を答申する。

(開催回数) 約4回の開催予定

(オブザーバー) UR 都市機構職員

2. ワーキングチーム

(位置づけ) 審議会の下部組織として、市民意見聴取への参加や見直し内容の検討といった実務を担う。 ※資料16 設置要領案を参照

(開催回数) 会議を約4回開催、市民参加型ワークショップに約3回参加の予定

(構成メンバー) 審議会委員2～3名 ※ワーキングチーム参加は報酬対象外

市関係部課職員

(オブザーバー) UR 都市機構職員

3. 市民参加型ワークショップ

(位置づけ) 利用計画見直しに向けた市民意見聴取

(開催回数) 約3回の開催予定

(コーディネーター) 業務委託を予定

《 相 関 図 》

